

▼今回のポイント

- ☑ 交通事業統括本部 ネットワーク推進課 古賀隆太さん
- ☑ 「No.1タクシーネットワーク」について
- ☑ タクシー会社の課題を解決！ドライバー求人サイト「WAY」
- ☑ 地域創生に貢献したい「通販事業、逸品マルシェ(サイト)」

【No.1タクシーネットワークとは】

まず、改めて当企画でも度々取り上げてきた「No.1タクシーネットワーク」とは。北は北海道から、南は沖縄まで、全国700社以上のタクシー会社が加盟しているネットワークです。古賀さんが所属するネットワーク推進課がその旗振り役を担っています。

▼これまでのネットワークに加盟するメリットは、

- (1) タクシー事業にまつわる、車両、タイヤ、決済ツール、保険など多様な資材を共同購入できる、つまり導入価格を安く抑えられること
 - (2) 報道機関や出張、旅行者など、他のエリアから来るお客様向けのタクシーの依頼が、ネットワークを通じてもたらされること
- がありましたが、サービス内容を随時拡張しているといいます。

【新しい取組み①タクシードライバー求人サイト】

1つ目は、タクシードライバー求人サイト「WAY」です。これは、タクシー会社の大きな課題の一つ「ドライバー不足」への対策として生まれました。このサイトは、No.1タクシーネットワークに加盟している会社が、掲載料と紹介料がいずれも無料で利用できる求人媒体です。

このWAY以外にも、同じような求人媒体サービスはあるといいますが、成功報酬の支払いがタクシー会社にとって大きな負担となり、利用できないという会社も少なくないそうです。一方、このWAYはNo.1タクシーネットワークの「付加価値」として、成功報酬無しで利用してもらいたいと古賀さんは語ります。

【新しい取組み②EV車両導入のサポート】

まず、EV車両導入の背景を伺うと、コロナの影響でガスタンドが相次いで閉鎖となり、場所によってはドライバーが10キロ先までガスタンドを探しに行くほど「ガスタンドが地域から無くなる」ということも起きているといいます。また、中古車は、価格は抑えられるものの燃費が悪いという状況もあるといい、古賀さんはこのネットワークを通して「EV車両をいかに業界に広めるか」がミッションだといいます。

▼EV車両の導入に伴い、加盟企業が得られるメリットとしては、

- ① 第一交通産業が全国で蓄積している、EV車両導入のメリット・デメリット情報の提供を受けられること
- ② それぞれの自治体によって異なる補助金の情報が得られること

- ③部品や充電器購入のコストカット
 - ④電力エネルギーの仕入れコストが安くなる
- こうしたメリットが受けられるといます。

【地域創生に貢献「逸品マルシェ」】

最後に古賀さんから、第一交通産業の全社員へ向けてPRしたいことを伺うと、新しいチャレンジ「[通販事業、逸品マルシェ\(サイト\)](#)」について案内してくれました。このサイトは、全国のタクシードライバーがおすすめする逸品を注文できる通販サイトで、商品の開拓は本社の特命チームが担当しています。

古賀さん「『[逸品マルシェ](#)』のコンセプトは、タクシードライバーがおすすめする地元の逸品。今、ふるさと納税も注目されているように、この逸品マルシェも地域創生との親和性も高いはず。まずは、第一交通の自社内で実施して、いずれはNo.1タクシーネットワーク加盟企業も巻き込みながら、[全国に動きを拡大していきたいです](#)」